

株式会社名村造船所

もろどみこうかきょう 諸富高架橋

[概要]

有明海沿岸道路は福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市に至る延長約 55km の地域高規格道路で、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの交通拠点等を結ぶ広域交通ネットワークを形成するとともに、並行する国道 208 号の交通混雑の緩和や交通安全の確保を目的とした道路である。

本橋梁は大川佐賀道路における令和 4 年度開通予定の大野島 IC～諸富 IC 間に架かる橋梁である。諸富高架橋（上り線 P12-A2）工事では、国道 444 号を跨ぐため国道の夜間通行止めを行い、200t クローラクレーンにて架設作業を行った。

- 発注者：①国土交通省 九州地方整備局 殿
②国土交通省 九州地方整備局 有明海沿岸国道事務所 殿
- 工事名：①佐賀 208 号諸富高架橋上部工（上り線 P12-A2）工事
②佐賀 208 号諸富高架橋上部工（下り線 P7-P12）工事
- 引渡場所：①②佐賀県佐賀市諸富町為重地先
- 竣工：①2020 年 1 月 31 日
②2020 年 1 月 20 日

[仕様]

- 橋長：①177m / ②145m
- 幅員：①20.2m / ②9.7m
- 鋼重：①394.918t / ②245.39t
- 鋼種：①②SM490YA, SM400A, SS400
- 橋梁形式：①鋼 6 径間連続非合成鈹桁橋 / ②鋼 5 径間連続非合成鈹桁橋
- 架設工法：①②クローラクレーン架設工法



① 佐賀 208 号諸富高架橋上部工（上り線 P12-A2）
竣工写真



② 佐賀 208 号諸富高架橋上部工（下り線 P7-P12）
竣工写真

[現地施工概要]

上り線 (P12-A2)・下り線 (P7-P12) とともにクレーン・ベント工法にて架設を行った。本工事は有明沿岸道路の一部であることから、路線での施工が進められており、当該工事を含めて3工事の上部工施工が同時進行で行われた。施工ヤードの出入口が一つであり工事用道路が共有であること、下り線 (P7-P12) 工事と近接工事となる上り線 (P7-P12) 工事の施工ヤードが同じであることなどから、クレーンの搬入日や地組立て作業日が重複しない工程の調整、部材の搬入や施工ヤードが干渉しない区域の調整など、綿密な調整が必要となる工事だった。

上り線 (P12-A2) は国道 444 号を跨いでいるため、国道上は全面通行止めを伴う夜間架設を行った。夜間架設を行う区間は国道を跨ぐため支間長が長く、架設時の支持間隔が約 40m となることから横倒れ座屈の懸念が生じたため、A2 橋台と国道の間にある小スペースに横倒れ座屈防止用ベントの追加を行い、対策を施したうえで国道上の架設を行った。(写真 1, 2, 3, 4)



写真 1 下り線 (P7-P12) 架設状況



写真 2 上り線 (P12-A2) 架設状況



写真 3 上り線 (P12-A2) 横倒れ座屈防止用ベント



写真 4 上り線 (P12-A2) 夜間架設状況